

「腫瘍遺伝学セミナー」を開催

2013年8月9日

8月9日（金）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、東京大学大学院医学系研究科・微生物学研究室 武田はるな先生を迎え、「Sleeping Beautyトランスポゾンスクリーニングによる大腸がん候補遺伝子の同定」と題して、がん進展制御研究所腫瘍遺伝学セミナーを開催しました。

セミナーでは、多段階発がんに関わるがん遺伝子、がん抑制遺伝子の変異マウスと、Sleeping Beautyトランスポゾンの組み合わせにより、大腸がん発生と悪性化に關与するドライバー遺伝子変異の探索について、興味深い知見を講演して頂きました。ゲノム解析が進む中で、高度な技術を駆使したマウスモデルの研究の重要性をあらためて認識する、とてもいい機会になりました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約30名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。



Sleeping Beautyトランスポゾンスクリーニング による大腸がん候補遺伝子の同定

講演者

東京大学大学院医学系研究科
微生物学研究室

武田 はるな 先生

日時：平成25年8月9日(金) 16:30～17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

武田はるな先生は、シンガポールA-Star研究所のNancy Jenkins & Neal Copeland研究室において、Sleeping Beautyというin vivoのトランスポゾンスクリーニング技術と、Kras, Smad4, p53遺伝子変異マウスを用いた解析から、新しい大腸がん候補遺伝子を同定しました。フルゲノムシーケンスでも類似した遺伝子変異が見つかり、大腸がん発生の分子機構を知るためのとても重要なアプローチとして注目されています。

セミナーでは研究手法や最新の研究結果について紹介して頂きます。みなさま奮ってご参加、ご討論下さい。